

# 大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：木村委員（一修正：事務局）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第5回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和2年11月18日（水）13：30～15：30				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟3階 集会室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委員（部会長：志村 陽子）（副部会長：蛭子 明子）＜敬称略＞				
	宇田尻 浩司	遠藤 文夫	藤澤 成光	宮坂 貴子	栗田 修平
	生駒 友一	石塚 由江	木村 直紀	北畠 拓也	前田 斉
	オブザーバー：佐藤 瑞紀、阿部 千明（大森警察署）、 岩下 龍矢（蒲田警察署）、藤原 勝幸（矢口消防署）				
	区職員：山下 潤二（福祉管理課調整担当係長） 山戸 健司（障害福祉課施設担当係長）				
事務局：宮崎 理恵、森崎 恵里、江川 奈保美 (障がい者総合サポートセンター)					
1 連絡・確認事項					
(1) 司会、書記の確認（司会：栗田委員、書記：木村委員）					
(2) 出席者の確認、オブザーバー参加者、配布資料の確認					
(3) 第1回本会（10月27日）の報告					
10月27日に本会委員のみで開催した。今年度は2年任期の2年目ではあるが、推薦団体の事情により新しい委員が6名参加した。昨年度から3つの専門部会となり協議会を運営しているが、改めて自立支援協議会の概要、昨年度から専門部会が5部会から3部会となった経緯、協議会の運営図の確認を行った。また、相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会の各専門部会より活動報告を行った。					
2 前回の振り返り					
ご意見カードの紹介。各ワーキンググループに対するご意見を共有した。					
3 議題					
(1) 各ワーキンググループからの報告					
1) 「A調査・研究」より（11月2日実施）					
ア 福祉避難所協定施設アンケート調査					
・大田区の福祉避難所協定施設と特別支援学校へアンケートを行うため、ワーキンググループ内で項目を整理した。今回は3回目となるが、前回と比べ自由記述を減らし選択項目を増やした。アンケートで現状を把握すると共に、選択項目を福祉避難所開設の手掛かりにしてほしいというねらいがある。					
・当事者が参加している部会だからこそ、福祉避難所に対する希望を質問項目に加えることができている。					

#### イ 状態別ニーズ調査

- ・国立リハビリテーション研究所が開発した「安心防災帳」を用いて11月27日（火）防災ワークショップを開催予定。委員の方にも積極的にご参加いただきたい。
- ・このツールを用いて、相談支援専門員が災害対策の協議をしている自治体もある。

#### 2) 「B 自助・共助ツール」より（11月11日実施）

##### ア ヘルプカードの見直し

- ・前回の部会での意見を参考にヘルプカードと封入チラシを修正した。令和3年4月から配布できるように準備している。ホームページにパソコンで記入できる用紙を添付する、使用方法の事例を掲載するなど合わせて検討している。

##### イ 資源マップ作成

- ・大田区全体の震災・風水害のハザードマップを拡大し、そこに福祉避難所の位置をプロットしたマップを確認した。さらに液状化マップと福祉避難所、参加者の自宅などを重ねて、危険度合いを確認した。
- ・次回ワーキンググループで、サポートセンター周辺のマップに災害時の資源（広場・給水場所など）、避難を阻害するもの（細い道、倒壊しそうな地図）の整理を行う。

##### <委員からの意見>

- ・地図を確認して、友人の住んでいるところは危なそうだったと思った。
- ・実家や娘の施設は危険な状況だと感じた。サポートセンターの南側をまち歩きをして資源マップをつくりたい。
- ・災害という視点でどういうポイントを押さえて歩いたら良いのか、他の地域にも応用できる内容なので期待したい。
- ・東日本大震災では日頃からの訓練が重要だったと言われている。防災あんしん部会からこうした重要性について発信ができる事が重要。リモートが定着してくると地域に居る大人も増えるので、災害時の活動の担い手も増えると思う。
- ・ヘルプカードは自分の事を人に伝える自助の視点から何度か更新しているが、今回は文言をシンプルにしながら分かりやすくなるように整理した。
- ・マップづくりについては自分の家の周り、地域ごと、福祉避難所ごとの情報を共有するワークショップに成長していければと思う。興味がある人は参加してほしい。
- ・自分の子供は自分の事を話すことや歩くことに介助が必要である。学校当時PTAが作ったサポートブックがあり、その中に食事、薬など記入できた。障がい者がひとりで避難所に行った場合などのツールとしてヘルプカードを活用したい。

#### 3) 「C 権利擁護」より（11月11日実施）

昨年度から専門部会で権利擁護に取り組んでいる。来年度は、おた障がい施策推進プランの改定があるため、権利擁護のワーキンググループで次期プランについて意見をまとめた。来月の自立支援協議会運営会議で提案をする。

##### <委員からの意見>

- ・個別の障がい者施策も重要であるが、対処療法的な施策のほかに地域全体の課題として、一般の住民が障害者・要配慮者の課題に取り組めるようになることが重要。
- ・こうした計画づくりは、そのプロセスで本来の地域の課題として障害者の権利擁護

などについて当事者を交えて話し合える取り組みが重要。

#### 4 その他

##### (1) 委員および各関係機関からの情報提供

##### 1) マイ・タイムライン講習会の報告（福祉管理課 山下係長）

9月30日、11月10日の2日間（計4回）、障害のある方及び関係者のためのマイタイムライン講習会を実施した。ニュース報道や新聞記事にも掲載された。資料の「マイ・タイムラインをつくってみよう！」には、欄右側に「サポートタイムライン」の項目が設けられている。述べ参加者数100名程度だった。

##### 2) 精神障害当事者会ポルケからご案内

研修のご案内チラシを配布。

#### ※次回の日程

##### 【第6回防災・あんしん部会】

日時：令和2年12月9日（水）13:30～15:30

場所：障がい者総合サポートセンター A棟3階集会室